

## まちなか懇談会 参加模様

日時：平成 23 年 11 月 12 日（土）14:00～16:00

場所：千代田区役所 401 会議室

テーマ：「防災～東日本大震災をふまえた区の防災対策～」

区出席者：区長、環境安全部長、危機管理担当部長、防災課長、広報広聴課長

参加者：区民約 30 名（千代田区子ども守る会から A さん、B さん、C さんの 3 名が参加）

内容：防災をテーマにした懇談会中、千代田区子ども守る会として「食の安全」に関して区出席者と意見交換した内容について記載します。

以下、千代田区長の発言を（◎）とし、千代田区子ども守る会の会員の発言を（○）と記載します。

- （○）A さん）2 点、質問があります。一つ目は、北海道大学の研究チームが今年の 12 月から来年 1 月に直下型地震が発生する確率が高いという発表をしています。震災は待ってくれませんが、区としていつまでに何を行うという時程表はないのですか。二つ目は、防災が区民の安心・安全を守ることならば、食の安全も大変重要。千代田区の区立保育園でお弁当持参を認めてもらえないのはなぜですか。都内 23 区内でも区によっては、お弁当を許可している区立保育園があります。
- （◎）行程表は、3 月までにたたき台を提出し、皆様のご意見を伺います。お弁当持参については、大変難しい問題と思っています。所管部へ問合せを行い、教育委員会から連絡をしてもらうこととします。連絡先を配布した用紙にお書きください。
- （○（B さん））お弁当持参については、これまで何度も園へ要求しましたが、園長会議内でも結局、許可されず、先生方の中には、a ちゃんはお弁当、b ちゃんは給食となると、間違わず対応できるかどうか問題ということから残念ながら、実施されませんでした。区長にも若い孫がいるとのこと、区長におかれましては、千代田区の待機児童ゼロを目指すなど区の子育て支援に力を入れて頂いています。お弁当持参についても、是非、トップダウンで実行してもらいたいと思います。
- （◎）お弁当持参については、子供たちの中には、お弁当が欲しくても作れない保護者がいます。お弁当持参している子供たちと持参しない子供たちがいると、子供の世界は非常に繊細な部分があるので、教育上、難しい問題と感じます。この件に関しては、先ほどと同様、所管部から回答します。連絡先を教えてください。

(○ (Cさん)) 千代田区の保育園等の給食内の放射性物質測定について、お願いがあります。これまで1度実施されましたが、次回の測定は12月、今後2ヶ月に一度の頻度で実施予定と聞いています。2ヶ月に一度の測定では、子供の安全が守れるのか不安です。もっと頻繁に測定していただきたく、要望します。

(◎) 11月中に次回を実施する予定です。所管部から回答します。連絡先を教えてください。

(○ (Aさん)) 通学路も放射線量測定が行われると聞いていますが、通園路も実施予定ですか。

(◎) はい。通園路も実施します。

(○ (Bさん)) 通園路測定については、よちよち歩きの0歳児もいることから、50cm、5cmといった低い場所での測定や、ホットスポットと呼ばれる側溝等を中心に測定してもらいたいです。

その他：懇談会終了後、区長及び危機管理担当部長が自ら、私たち3名のところまで足を運んでくださり、交流を図ることができました。危機管理担当部長には、通園路の測定については、子供たちがどこで止まり、どこで遊ぶかをよく知っている保護者も測定時には、同行したい旨を伝えました。